

PHP新書「地震予報」読者の皆様へ No.1778長期継続大型地震推定前兆 原稿校了後の前兆変化についての続報

続報 No.343

2022.11/09 (水曜) 15:00 発表

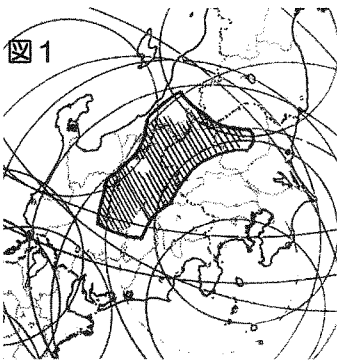
八ヶ岳南麓天文台 串田 〒409-1502 山梨県北杜市大泉町谷戸8697-1 研究室 電話 0551-38-3987 FAX 0551-38-4254

※PHP新書「地震予報」にNo.1778前兆について記したため続報公開。No.1778前兆は27年の観測歴史上最長継続の最大に難解な変動。しかし首都圏直下・南海トラフ等大型地震は前兆検知から発生までは数日の可能性が高い。火山噴火も検知可能。これらのNo.1778前兆以外の他の地震前兆については本HPでは公開できません。E-mailまたはFAXで配信の観測情報でのみ公開しています。本観測をご支援下さる方に前兆変動の有無や発生推定内容等の観測情報を配信しています。観測情報配信の「公開実験」に是非ご参加下さい。

PBF 11/9.2 終息→ 11/28±2 発生 又は 12/2±2 発生の2種の可能性が考えられる 残る 特異変動 11/14±1 ~ 11/17±1 等終息時期確認で修正

10/22にPBFが再出現し、その時点で11/15±発生の可能性は否定されました。また11月末近くでの発生の可能性となること等を10/26に配信の観測情報で既に報告致しました。さらに図2のB1・B2のPBFが第2ツインピークス極大認識となったことも11/4配信の観測情報で報告済でしたが、HPでは遅くなりましたこと、お詫し下さい。

PBFを詳しく調べますと、微弱なPBFが10/27.3に一度終息した可能性有。その後出現形態・出現時間帯の異なる明確なPBFが継続出現し出し、11/9.2に完全終息。全てが7/28.4極大に対する一連のPBFで11/9終息としますと12/15±発生となり、他の関係が示す11/27±発生推定と合いません。PBFの形態が変化する前に一度終息した10/27.3をPBFツインピークス極大の7/28.4に対する終息認識としますと11/27±3発生の可能性を示します。



- 推定領域：図1太線内領域
斜線域＝火山近傍参考推定域
- 推定規模：M8.0±0.3
- 推定時期：11月28±2又は
12月02±2

特異終息時期確認後修正

○地震種：

震源浅い地殻地震

○推定発生時刻：

午前9時±3

または 午後6時±3

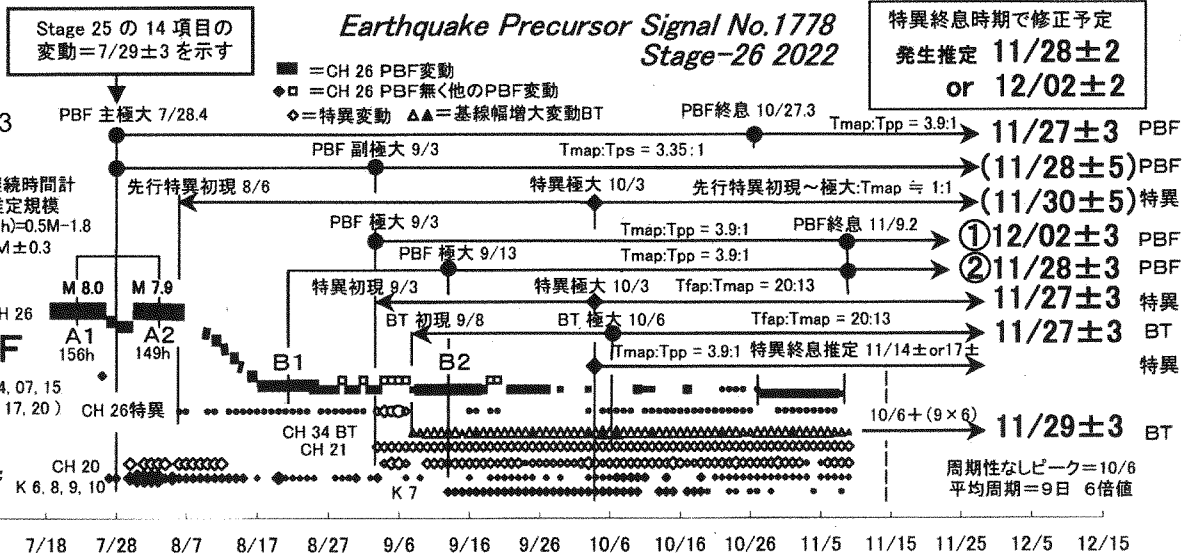


図2

※推定内容根拠はNo337を参照下さい